

演題

がんとは？ - 発がんメカニズムをさぐる

講師

福島県立医科大学放射線健康管理学講座

主任教授 大津留 晶先生

●講演内容●

がんの臨床も研究も極めて幅広い分野において最新技術の開発が進んでおり、専門外の臨床や研究はなかなか理解することが難しい。そもそも、がんが細胞の病気であることという概念ができたのは1943年の吉田肉腫の発見まで遡る。その後がんは発がん物質で変異するタンパク質やウイルスの病気ではないかという考えで研究されてきたが、1982年になってヒトがん遺伝子が発見されて、がんは遺伝子の病気ということが判り、80年代の終わりになりがん抑制遺伝子がようやく発見された。その後ヒトゲノムプロジェクトの進歩などもあり、様々な遺伝子の機能が明らかになるとともに、がんにおけるシグナル伝達の研究や、エピゲネティクス研究、がん幹細胞研究など、様々な研究が現在展開されている。60分という短い時間ではあるが、できるだけ歴史的なところから現在の最先端の分野まで全体像を俯瞰して、発がんメカニズムを理解するうえでの基盤となる考え方を紹介してみたい。

●講師紹介●

- 1982年3月 長崎大学医学部卒業
1982年5月～ 長崎大学病院 第1内科 研修終了後、消化器内科専攻
1985-1987年 カナダ・カルガリー大学生化学教室留学
1988年3月 長崎大学大学院医学研究科修了
1988年4月～ 日本赤十字社長崎原爆病院 内科
1991年6月～ 長崎大学医学部原爆後障害医療研究施設分子医療部門 助教
(放射線発癌機序解明及び消化器癌・
甲状腺癌分子標的治療研究)
2003年4月～ 長崎大学病院 准教授
永井隆記念国際ヒバクシャ医療センター 副センター長
(長崎大学病院の被ばく医療臨床・研究・教育部門の担当)

お問い合わせ先
福島県立医科大学附属病院
臨床腫瘍センター
がんプロフェッショナル養成支援室
電話 547-1410 (内線2661)
メール akiko-a@fmu.ac.jp

次回開催のお知らせ
日時 平成24年5月22日(火) 18時～19時
講師 当学附属病院臨床腫瘍センター
次長 菊田敦先生
内容 「これからの福島の小児がん医療(仮)」

福島県立医科大学 平成24年度 第1回

臨床腫瘍セミナー

日時 平成24年4月17日(火) 18:00～19:00

場所 福島県立医科大学11号館(臨床講義棟) 第二臨床講義室